

ひたちとアジア

第52号

2015年(平成27年)12月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第13回ひたち国際文化まつり開催

世界を知って交流の輪を広げよう

秋深まりつつある季節、市民の皆様にはすっかりおなじみとなった「ひたち国際文化まつり」は、今年第13回目を迎えて、11月14日(土)10時から日立シビックセンターにおいて、国際交流の輪をひろげて賑やかに開催されました。観客は延べ5,000人。あいにく午前中は少々雨模様でしたが、会場前の新都市広場では日立市産業祭も開催中で、相乗効果もあり親子連れや家族そろって、また外国の方々も多く来場し、国際色豊かな会場風景となり交流を深めました。

〔展示コーナーは11月10日～15日の6日間〕



フィリピン伝統舞踊

お茶席体験

1階 Education & Experience Zone 外国の文化を体験しながら学びます

正面入口の広いアトリウムの空間では、スタンプラリー、留学生(ベトナム、キルギス、カナダ)によるお国紹介、茨城県立日立第一高等学校国際交流部活動紹介、お茶席体験、フィリピン舞踊披露等が行われました。ひたちとアジアの文化交流をすすめる会の今年のテーマ国がフィリピンであることから、「インラヨグ・フィリピン」の皆様を東京からお招きし、フィリピン伝統の舞踊を披露していただきました。時間になると大勢の来場者が集まり、舞踊の途中では見物の皆さんも仲間に入ってバンブーダンスで大いに盛り上がり楽しんでいました。

1階奥のギャラリーでは、日立市の小中学生が描いた650点の「私の町のたからもの絵画展」が開

催されました。残したい・守りたい日立を再発見しながら、当日は表彰式もあり、20点が入賞となりました。国際親善姉妹都市タウランガ市の子どもたちが描いた「私の国のたからもの絵画展」や、町への想いをラブレターにした国際絵画展、国際交流協議会の活動や所属団体を紹介するコーナー、世界が抱える教育問題や活動内容紹介の世界寺子屋運動パネル展など盛りだくさんの展示でした。



2階 Talk Zone みんなで語り合い、楽しみましょう

国際交流ボランティアネットワークさくら発足 25周年記念第25回「外国人の皆さんの日本語意見発表会」が、多用途ホールで開催されました。ベトナム、アメリカ、インドネシア、中国、ニュージーランドからの12名が日本語で環境、家庭、平和、教育に関するテーマで発表し、聴衆の投票により、第1位となるさくら賞には、来日6ヶ月のベトナム人留学生(茨城キリスト教大学)の、ホアン ティ レ チャンさん「ベトナム人の苦痛と笑顔」が選ばれました。

投票集計時間中には、グループ「ポコアポコ」の皆さんによるフルート・キーボード・ヴァイオリンによる音楽演奏があり、結果の発表と続いて表彰式が行われました。式後には発表者のみなさんとの交流及び意見交換が行われ、大変盛況でした。



4階 Eating Zone 食文化を堪能したい方はこちら

タイ・フィリピンの本場の味！国際屋台村では、白いスープのタイラーメン、ボリュームいっぱいタイカレーセット、大盛りのガバオ飯、タピオカのスイーツ、そしてフィリピンの春巻きルンピアと甘いリッチフランが販売され、来場者は401号会議室でお茶のサービス付で昼食を食べることができました。今年は早い時間に売り切れとなり、アジアの珍しい味がおいしいと多くの方々が楽しみました。



早い時間に売り切れとなり、アジアの珍しい味がおいしいと多くの方々が楽しみました。

5階 Culture Zone いろいろな国の文化を体験できます

501号室では、ひたちとアジアの文化交流をすすめる会が「フィリピンの今」をテーマに、写真とパネルで紹介し、他にも民族衣装を展示し、実際に着用して記念写真を撮れるコーナーを出展しました。他にもフレンドリーあんずによる、ラオスへの小学校校舎建設に寄与された際の写真展示と、現地で購入調達した品物の展示・販売も行われました。コーヒー試飲も好評でした。



茨城キリスト教大学文学部文化交流学科は、実際に訪問して調達したカンボジア・トルコ・インドネシア・ベトナムの手工芸品の展示販売を行いました。



大学では、カンボジアにおいてボランティアで現地の中高等学校を訪問し、学生自らが日本語・英語の授業を行う体験教育を10年以上実施しているとのことでした。体験を通してボランティアの意義を理解した学生の目は輝いていました。



502号室では、日立市日中友好協会が、中国の今昔写真・文化風景を展示し、漢字で遊ぶ(カルタあそび)で来場者と一緒に楽しむコーナーが、入り口では中国茶の試飲が振る舞われ、皆さんに茶菓子をもてなし、「日中友好の懸け橋に」の思いが伝わる会場の雰囲気を感じられました。

503号室ではフレンドリーあんずが、外国人による生け花作品を会場の各コーナーに飾ったほか、持ち帰り可能な生け花の体験コーナーも開催、花を通して日本の文化を紹介していました。フィリピンの国花《サンパギータ》も写真と文章で紹介しました。

日立一高・二高生がボランティアとして参加
今回は19名の生徒さんが、様々のコーナーでスタッフとして協力してもらいました。楽しい経験となったようで、終了後の懇親会にも参加して、国際文化まつりを最後まで盛り上げてくれました。これからも国際交流の素晴らしさを体験し、活躍してください！

「フィリピンフェスティバル・東京国立博物館」研修ツアー開催

今回の研修ツアー「バスで行くアジア文化めぐり」は、ひたちとアジアの文化交流をすすめる会の今年度のテーマ国「フィリピン」の文化を学ぶため、代々木公園で開催された日本最大のフィリピンフェスティバル見学をメインに、午前中は東京国立博物館で「クレオパトラとエジプトの王妃展」を見学する研修ツアーを、9月20日(日)に参加者30名(事務局2名を含む)で開催しました。このツアーには、次の記事で紹介している料理サロンにおいてフィリピン料理を教えていただいた、辻ローナさんや辻さんのお友達も参加してくださいました。



まず、最初の目的地「東京国立博物館」で開催されている「クレオパトラとエジプトの王妃展」を見学しました。クレオパトラに代表される古代エジプトの王妃や女王たちをテーマにした展覧会です。母や妻、そして娘として王であるファラオを支えるだけでなく、時に大きな政治的・宗教的な役割をも果たした女性たち。世界各地の名だたる美術館や博物館から古代エジプト選りすぐりの名品を集め、彼女たちの魅力がたっぷり紹介されていました。

国立博物館見学後バスで移動し、11時30分頃、代々木公園に到着し、フィリピンフェスティバル会場で各自、昼食・見学をしました。フェスティバルは土日の2日間開催されており、内容は、レストラン・飲食物と衣料品等の販売・フィリピン関連の各種セミナー・ステージでのパフォーマンス等々があり、人出も多く大変盛り上がっていました。

フィリピン政府観光省のブースでは、今年の「ひたち国際文化まつり」のフィリピン紹介コーナーの展示品を借りることができました。

すべての予定を終了し一路日立へ、17時過ぎにシビックセンターに無事帰着しました。

アジア料理サロン「フィリピン料理」

10月25日(日)10時30分から日立シビックセンター料理室で、辻ローナさん(日立在住フィリピン出身者)を講師に迎えて、ご友人のロース・ディグナさんとともに、フィリピンの料理を教えてくださいました。日立市報に開催を広報したこともあり、一般市民の方々と会員や事務局を含め33名での楽しい賑やかな講習となりました。



講師の先生を囲んで学びます

調理した料理はフライドルン

ピア(春巻き)、サラダ、シニガンスープです。昼食はそれにご飯と、ローナさん差し入れのプリン、お国のバナナチップ、乾燥マンゴーも加わり、皆さんで賑やかに美味しくいただきました。

調理後の参加者の感想として、フライドルンピアという春巻きは、中の材料まで火が通るようしっかりフライして、日本のものよりボリュームたっぷりでした。ケチャップとスイートチリソースをあわせたソースをつけてとてもおいしかった!シニガンスープは米

のとぎ汁が入り、シニガンの酸味がアジア料理らしい、なかなかの味と評判でした。また下ごしらえの仕方が、日本と違いお国柄が感じられて楽しかったという沢山の感想が寄せられました。

昼食の片付け後、辻さん提供の写真40枚と、外務省が公開している情報をもとに、フィリピンの生活や文化について解説をしていただきました。今回の教室を通してフィリピンへの理解を深めるよき時間となりました。

教えていただいた春巻きは、国際文化まつりの国際屋台村で、会員の方々によって調理され、会場で販売されました。



出来上がった料理とフィリピンの話を聞く皆さん

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2015年7月～

◆**茨城大学工学部「日立国際交流運動会」参加** 7/4 大学内にて茨大工学部国際交流サロンチューター主催による日立国際交流運動会に出席。参加者は留学生一般学生 40～50 人。チューターから留学生へのサポート体制について説明があり、その後体育館に移動して卓球・バドミントン・バスケットボールを実施。

◆**市民文化シンポジウムに参加** 7/18 多賀市民会館大ホールで開催された市民文化シンポジウム（日立市科学文化情報財団と日立市民文化事業団の合併記念行事）に参加。テーマは「市民と文化の出会いがつくる日立の未来」参加者は一般市民 250 人。吉本光宏（ニッセイ基礎研究所研究理事）による「アートから始まる市民・地域の活動創出」と題する基調講演。その後参加パネラー 4 人の報告。終了後別室にて懇親会。

◆**茨城キリスト教大学川瀬巴水研究会参加** 7/27 大学内にて開催。参加者は先に開催された公開講座「川瀬巴水と日本の原風景」の受講者と学校関係者を中心に約 30 人。染谷教授、鈴木氏（国際新版画協会会長）、東海林学長等も参加。10/8 に開催された研究会にも参加。土井利一氏（版画コレクター・元キリンビール社員）の講演を聴講。この研究会に関連し、11/15 に開催された川瀬巴水研究会研修旅行にも参加。松戸駅ビル内アトレ松戸「大正新版画生誕 100 年記念展」見学ほか、VTR鑑賞、巴水の娘ふみ子さんとの懇談もあった。

◆**茨城キリスト教大学染谷教授との交流会実施** 8/3 染谷教授の研究室にて交流会実施。ひたちとアジアの文化交流をすすめる会から、今年のひたち国際文化まつりについて説明し学生の参加を依頼。

◆**浅水伸介さんご家族との交流** 9/16・17 当広報紙にカンボジア通信を寄稿頂いている浅水さんご家族がカンボジアから里帰りし、浅水さんのお母様を伴い日立にも立ち寄っていただいた。16 日は、車にて茨城大学工学部・かみね公園・動物園に案内し、夜は会員有志と会食。17 日はシビックセンターを表敬訪問して懇談、その後市展・科学館見学。

◆**グローバルフェスタ 2015 見学** 10/3 東京お台場センタープロムナードにて開催された催事を見学。グローバルフェスタ実行委員会主催、外務省・JICA 共催。開催期間 10/3～4 日で政府主催の日本最大の国際交流イベント。参加団体数は 325。各団体がひと張りのテント毎に展示・物販など。ステージがあり、May J・林修先生等有名人が出演。交流がある「21 世紀のカンボジアを支える会」のブースを訪問し根岸理事長と懇談。

◆**「茨城アジア基金」を支える会 30 周年記念祝賀会に出席** 10/31 ホテルレイクビュー水戸にて開催。茨城県副知事山口やちゑ様はじめ来賓多数、参加者は会員他 100 人程。「茨城アジア基金」を支える会会長挨拶及び来賓挨拶、会のあゆみ・新校舎完成の報告、基調講演の演題は「本を拓き 花が咲く(アジアの教育支援 30 年の現場から)」その後設立 30 周年記念祝賀会。

◆**茨城キリスト教大学シオン祭見学** 11/2～3 日開催。11 月 3 日見学。例年ひたち国際文化まつりに出店していただいているアジアンバザール会場を訪れ、藤田教授と交流、改めて今年の出店を要請。

日立シビックセンターからのお知らせ

シビックサロン「冬に愛でる桜のハンカチ染め」 申込受付中！

日時：2016 年 1 月 23 日(土)13:00～16:00

場所：日立シビックセンター料理室

参加料：3,000 円

定員：20 人

講師：岡村比都美(桜コーディネーター)



日立市の桜から化学薬品を使わない方法でハンカチ(50×50cm)を染めます。肌に優しく、自然な薄紅色に仕上がります。花見だけではない四季折々の桜の楽しみ方をご紹介します。小学生以上のどなたでも参加いただける講座です。

参加のお申し込み：日立シビックセンター交流事業課 0294(24)7711

カンボジア通信 第3シリーズ NO.5

元青年海外協力隊(理数科教師)・教育開発コンサルタント 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、子ども達の理数科教師として活動しています。今回は『少年野球チームの監督のような活動“カンボジア科学倶楽部”を発足』について寄稿いただきました。

私はかつて少年野球チームに入っていました。今思うと、どうして監督やコーチなど大人たちはわざわざ休みの日にも関わらず、私達の練習に時間を充ててくれたのだろうかと思議に思う事があります。やはり、日本は次世代の子どもたちに立派な大人になってほしいとか、夢を与えたい、助け合いの精神、チームワークやルールの遵守などを伝え教える文化や活動が根付いていて、本当に素晴らしい事だと思います。カンボジアも、最近、有志が集まって活動する音楽バンドなどが出来つつありますが、まだまだそういった活動が少ないのが現状です。

現在、私も少年野球ではありませんが、“カンボジア科学倶楽部”を発足し、子どもたちに直接、科学の面白さを伝える活動を始めました。現在、本業の方でカンボジアの理数科教育に関わっているとはいえ、オフィス内での仕事が主になってしまい、現場との関わりが少なくなってしまう事を残念に思っていたため、日曜日の空き時間を使って、カンボジア人の中学生達に理科の実験教室を開いて、直接教える活動を始めました。

そんな私達に素晴らしい機会が突如訪れました。それは、私達の倶楽部で行った自然環境に関する研究成果を国際大会で発表せよという指示が下ったことです。この光榮な機会に恵まれ、子どもたちと一緒に喜んでいるところですが、なかなか研究成果がまとまらず、展示パネルもなかなか仕上がらずで、7月中旬に間に合うかどうか、私は焦っているのですが、子どもたちはなかなか焦ってくれません。日本の同年齢の子どもたちならば、直ぐにできる作業も、カンボジアの子どもたちは何倍もの時間がかかります。研究成果の内容は勿論のこと、他国の生徒達にも興味を持って

もらえるような展示の工夫も必要です。これに英語での発表がプラスされるため、彼らの英文指導もしており、本業よりもある意味忙しくなってきました。それでも、楽しいからこそ、できる活動なのだと思っているところです。

カンボジアの研究発表内容

- ・コッコン州のマングローブの保護
- ・クラチェ州の淡水イルカの保護
- ・コンボンスピー州にある温泉の不思議

今年の世界大会は、中国・済南市で行われます。渡航手続きはほぼ完了し、『しおり』も作りしました。カンボジアがこの大会に参加するのは初めてです。彼らは、カンボジアでこそ、優秀な生徒ですが、世界を相手にどこまで自分達の力が通用するか、試練の時が来ました。今、子どもたちの作業を見守りながら、この記事を書いているところです。ついでに、スポンサーも募集しているところです。次回のカンボジア通信では、この子どもたちの中国での様子を報告いたします。



研究内容を吟味中の写真

情報コーナー

シビックサロン参加者募集 ※詳細は日立シビックセンターへお問い合わせください。0294(24)7711

冬に愛でる桜のハンカチ染め

2016年1月23日(土)
13:00~16:00
講師:岡村比都美
(桜コーディネーター)
詳細は本誌4ページをご覧ください。

親子で体験
和菓子で贈るバレンタインスイーツ

2016年2月6日(土)13:30~15:30
参加料:3,500円
対象:親子(小学生以上)
講師:御園井裕子(鎌倉創作和菓子「手毬」)
和菓子作りを親子で体験。今年のバレンタインは美しい和菓子を送ってみては?

申込受付中

おばあちゃんの知恵袋
~春の野草で元気になる~

2016年3月19日(土)13:00~15:00
参加料:3,000円
対象:一般
講師:NPO 法人おばあちゃんの知恵袋の会
「スギナ」を使った健康法と「ヨモギ」を使った料理を学びます。

1月16日(土)10:00から電話にて受付

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2015年12月~2016年3月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
日立市 日中友好協会	春節祭★	平成28年 2月7日(日)16:00	日立市民会館 111号室	0294-33-0505(白土)
フレンドリー あんず	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-36-4542(半田) 0294-42-8176(金岡)
	外国人のための生け花クラブ	毎月1回(木曜10:00)	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	年忘れ会★	12月19日(土)12:00	会瀬交流センター	0294-21-4150(福地)
	ET会定例会(すき焼き)	1月~2月	女性センター	0294-35-1151(今野)
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	文化交流の集い★	1月16日(土)	会瀬鹿島神社	
	国際理解講演会★	2月	日立シビックセンター502号	
日立ユネスコ 協会	伝承味噌造り	12月12日(土)	蛭田様講師宅	0294-35-6034(藤原)
	成人式コーアクション	1月10日(日)		
	書き損じはがきキャンペーン	1月~3月		
	「わたしの町のたからもの絵画展」統合展示会★	2月10日(水)~ 14日(日)	県立図書館	
	機関紙「日立ユネスコ」発行	3月		
カンボジア支援会	ふれあいの旅	3月4日(金)~9日(水)	カンボジア	090-4177-5393(菊地)
茨キリ大 国際理解センター	初めてのベトナム語講座★	平成28年 ①1月23日(土) ②1月30日(土) ③2月13日(土) 各日10:00~11:00	茨城キリスト教大 学シオン館1階 学生ラウンジ	茨城キリスト教大学 国際理解センター 0294-52-3215(代表)

活動記録

(2015.8.1~11.30)

編集後記

- ◆活動推進部会(メンバー定例会)
8/4、9/15、10/23
- ◆広報部会 9/15、10/23、11/14、11/29
- ◆ひたち国際文化まつり実行委員会
8/27、9/25、10/30

今年で13回目となるひたち国際文化まつりが、関係者の皆さんの協力により、無事終了致しました。例年よりも来場者の皆さんが多かったように思います。また、外国人も多数来場し東京から来られた方やエジプト人の方もおり驚きました。国際文化交流の輪が少しでも広がるよう今後も継続していきたいものです。(小澤 記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>
連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp